

8月30日から9月5日は「防災週間」です。

災害時にあわてずに落ち着いて行動するよう、日頃からの備えが大切です。

災害時の情報収集について

▶ラジオ

ラジオは停電時にも使用できる有効な情報収集手段です。

災害時には、市から提供する避難勧告などの緊急情報が「FMねむろ」(76.3MHz)などから放送されます。

※合わせて電池も備蓄しておきましょう。

▶緊急情報配信サービス

携帯電話をお持ちでない世帯へ津波情報や避難情報などの緊急情報を、電話やFAXでお知らせするサービスです。登録を希望する方は市総務課までお問い合わせください。

▶テレビ

リモコンの「dボタン」を押すと、データ放送の気象情報や防災情報を確認することができます。災害時には、避難に関する情報(避難勧告・指示、避難所情報など)をいち早く見ることが出来ます。

▶ねむろメール

根室市が様々な防災情報等をメールで配信するサービスです。右のQRコードを読み取り空メールを送信すると数分以内に返信がありますので、メールの内容に従って進むと登録できます。



▶緊急速報メール

各携帯電話会社から、気象庁が配信する緊急地震速報、津波警報、気象等に関する特別警報や、国・道・市が配信する災害・避難情報などが自動で配信されるサービスです。※登録不要

▶北海道防災メール

登録すると、注意報・警報などが発表された際、通知メールが送信されます。

詳しくは、北海道防災情報のホームページをご覧ください。



※その他、市では防災行政無線、公式フェイスブック、ツイッター等でも情報提供を行っていますので、ご活用ください。

地震発生時の行動

地震発生

揺れを感じる直前

(揺れ発生の数秒～数十秒前)

緊急地震速報

緊急地震速報は、大きな地震の発生が予想された時に、テレビ、ラジオ、携帯電話などから発信されるものです。

緊急地震速報が鳴ったら、あわてずに机の下に隠れたり、窓ガラスから離れるなど、自らの安全を確保してください。

揺れ発生

・周囲の状況に応じて、あわてずに身の安全を確保

※津波の危険性のある地域にいる場合は、すぐに高台等へ避難!

1～2分

- ・火元を確認、出火していたら初期消火
- ・家族の安全を確認
- ・ドアや窓を開けて、逃げ道を確保

3分

- ・靴を履く
- ・非常持出品を用意

5分

- ・ラジオなどで情報を入手し確認
- ・家屋倒壊などの恐れがあれば避難
- ・離れた家族の安否確認

10分

- ・再度火の元を点検
- ・隣近所の安全確認
- ・隣近所で協力して消火・救出活動

～3日後くらい

- ・生活必需品は備蓄でまかなう
- ・壊れた家には入らない
- ・引き続き余震に警戒
- ・自主防災組織を中心に行動する

家具の転倒・落下を防止しよう

- ・家具の上に落ちそうな物を置かない
- ・家具の配置の見直し
- ・倒れそうな家具の転倒防止
 - ～家具と天井の間にぴったりはまる段ボールをはめ込む
 - ～重いものは下に、軽いものは上に収納する
 - ～家具の下の手前側に段ボールなどを挟み、少し壁側に傾ける

余震に注意



「自らの命は自らが守る」意識を持ち 適切な避難行動をとりましょう

新型コロナウイルス感染症に注意が必要な今、
もし災害が発生したら、
危険な場所にいる人は、
全員避難することが原則です。

知っておくべき避難のポイント

▶ 避難するとは？

「避難」とは、「難」を「避」けることです。
安全な場所にいる人まで避難する必要はありません。

▶ 避難場所はどこ？

避難先は市が指定する避難所だけではありません。
避難所での過密状態を防ぐことも踏まえ、自宅の安全確保ができる場合は「在宅避難」や「安全な場所にある親戚、知人の家への避難」も検討しましょう。

▶ 情報収集を忘れずに！

災害発生時には、被害の状況や避難情報などの情報収集が重要になります。また、状況により開設する避難所が変更になっている場合がありますので、市が発信する情報に十分注意してください。

▶ 避難所には何を持っていけばいいの？

避難所で生活することになった場合、必要なものはできるだけ自分で用意する必要があります。
特にマスクや消毒液、体温計などは、できるだけ自ら携行してください。

【お問合せ先】

根室市役所総務部総務課総務・防災担当

TEL 0153-23-6111 FAX 0153-24-8692